

令和3年度全国学力・学習状況調査結果について

みだしのことについて、本市全体の状況については、下記のとおりです。  
なお、本年度は2教科（小中…国語、小中…算数・数学）の調査を実施しました。

記

1 本年度の各教科平均正答率

		国語	算数・数学
小学校	本市	65	70
	三重県	64	69
	全国（公立）	64.7	70.2
中学校	本市	65	59
	三重県	63	58
	全国（公立）	64.6	57.2

※ 文部科学省は、微小な差異は点数的に学力の違いを示すものではないことから、平成29年度より小数点以下は四捨五入し整数で示しています。

2 本市の小中学校の状況

小中学校4教科すべてにおいて、全国平均以上または同等の結果でした。

(1) 小学校

- ・ 国語は、県平均以上、全国平均と同等という結果でした。「漢字」や「主語と述語」など、基本的な力については良い結果でしたが、「自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える」力に課題が見られました。
- ・ 算数は、県平均以上、全国平均と同等という結果でした。「面積の求め方」に課題が見られました。

(2) 中学校

- ・ 国語は、県平均以上、全国平均と同等という結果でした。「文脈の中における語句の意味の理解」について課題が見られました。
- ・ 数学は、県平均以上、全国平均を上回る結果となりました。「問題解決の方法を数学的に説明する」力が良い結果でした。

3 今後の方針

- ・ 今回の調査結果の詳細な分析を行い、ICTの効果的な活用や小学校高学年教科担任制や交換授業の推進など、具体的な授業改善の視点を提案し、学校と連携して学力向上に取り組みます。
- ・ 各学校において自校の分析・結果公表を指示し、より一層の授業改善を働きかけます。